

岡本 市議長 全国会長に

防衛省情報施設協

防衛省全国情報施設協議会の25年度総会が30日、東京の都市センターホテルで開かれ、先の役員会の通り、岡本雄輔稚内市議会議長が会長に再任された。同会長によると、平成17年の基地交付金(国有提供施設等所在市町村助成交付金)復活の際などに大きな力を発揮した防衛省全国情報施設振興議員連盟。本来の目的を達成したとして活動は停滞気味だったが、このたび事務局を道12区選出の武部新衆議と、元航空自衛隊員で、稚内での勤務経験もある宇都隆史参議が担当することに、両議員とも「活動を促進させていく」

と話し、それが大きな成果だったと振り返る。また、北朝鮮による弾道ミサイルや中国との尖閣諸島問題などがあり、国の防衛体制は南中心になっているが、日本の北でも2月7日の北方領土の日のロシア機による領空侵犯、先月の中国、ロシア艦隊の宗谷海峡通過などの問題を抱えている。レーダーサイトは防衛の目、耳といえる施設で、全国北から南まで、全てを強化してもらうための活動を続けるこ

とも確認したという。10月中旬には総務省、防衛省、関係国会議員への要望活動も予定している。